

総合調査設計株式会社
sogo tyosa sekkei inc. presents

大阪探検隊【特別編】 Osaka City Expeditionary party

vol.003

[ルミナリエ]

Luminarie



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回ご紹介する内容は、「大阪探検隊」ではないですが神戸ルミナリエ等についてです。クリスマスということもあり、探検隊特別編をお伝えします

神戸ルミナリエ

『神戸ルミナリエ』は、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を込めるとともに、都市の復興・再生への夢と希望を託し、大震災の起こった1995年12月に初めて開催しました。

今年、2002年で8回目を迎える『神戸ルミナリエ』、ぜひ訪れてみてください。

(神戸ルミナリエ組織委員会オフィシャルホームページより)

会社への帰路の途中、ルミナリエの点灯に出会しました。ルミナリエは一度行ったことがあったのですが、点灯から見たのは初めてです。

18時になると、震災の慰霊をたたえる音楽が流れます。ルミナリエは光のイベントというイメージが先行しがちですが、この音楽により震災を彷彿とさせます。



音楽が終わり一気に点灯



音楽の後、西側元町側より市役所南の東遊園地へと流れるように点灯します。集まった人々は、ここで大歓声。

あとは東遊園地までの道のりを、光の中に包まれた別世界の夜間散歩。東遊園地では、円形など様々な光を演出しています。



ここに来られる人の想いは様々でしょうが、老若男女の誰もが皆わくわくし、感動し、楽しんでいる、そんな光景を久しぶりに見させていただきました。かなりご年輩のかたが、背を曲げながらにこやかに撮影している姿がとても印象的でした。

震災の傷跡が、一つ一つ消えていくことはいいことなのですが、経験をされた人々の思いを後生に伝えるものとして、ルミナリエを持続させていければと思います。



参考) クロモリット

ルミナリエと同じような光のイベントとして平成13年夏に開催されたクロモリットをご紹介します。
クロモリットは、「K O B E 2001 ひと・まち・みらい」の「神戸・光のプログラム」イベントの一環として市立博物館を中心に、旧居留地において開催されたものです。

基本はスライドの原理とのことですが、これも光の彫刻として感動的なものです。
(写真は、平成13年7月18日のものです)



クロモリットは、ルミナリエより知名度が低いように想われますが、これはルミナリエがクリスマスシーズンであることも影響しているのでは？

クロモリットの
機材セッティング風景